

A black and white advertisement for the Wilson Audio System 6. The image features two large, dark, trapezoidal speakers. The top speaker is shown from a three-quarter perspective, revealing its internal drivers: a large woofer at the bottom and a smaller tweeter at the top. The bottom speaker is shown from a front-facing perspective, highlighting its large woofer. The background is dark, with a purple and blue gradient behind the top speaker. The text 'SYSTEM 6' is overlaid on the top speaker, and 'FUN to LISTEN' is overlaid on the bottom speaker. The Wilson Audio logo is in the bottom right corner.

SYSTEM

6

FUN
to
LISTEN

WILSON
AUDIO



明瞭なコンセプトがもたらすたくいまれなる質感

ウィルソンは常々スピーカーとは「音楽を見る窓である」と言っています。カメラに例えればそれはレンズであり、曇りが無く、ゆがみも無く、自然のままの形と色を私たちに届けるものであるのです。

そこから私たちの脳神経の聴覚を刺激して、快い、洗練された感覚を起き上がらせてくれるべき素晴らしいことです。スピーカー造りに半生を捧げたウィルソンの傑作、システム5のパワーアップ版とも言える新たなスピーカー、システム6。その奏でる音楽はシャドー部のグラデュエーションをこちよく再現したうえで、さらにコントラストを明瞭に、ノイズレベルをより低く、しかもスピーカーの存在を感じさせない奥ゆかしさを持って登場しました。この余裕だ、あるリスナーが一人ごちた。そう、そのとおり、研ぎ澄まされたシャープさのシステム5からのさらなる進化、システム6は今、私たちに音楽の楽しみをより深く堪能するべく、その存在意義を問うているのです。

パワー感と洗練度の完璧なる融合

「システム5をアップグレードしてシステム6にする。いったいどこを改良するのだ」、こうした皆様の問いかけが、システム5それ自体のスピーカーとしての完成度を物語っています。言うまでもなくハリウッドメジャー映画のサウンドトラックのモニターとして、また、高級オーディオメーカーのリファレンスモニターとして、さらには音楽家の個人用音楽鑑賞スピーカーとしてその名は世界に鳴り響いているシステム5です。本当に改善される点があるのだろうか、私たちは本当にそう思いました。

改良点は2点に要約されます。Puppy-5はX-1に利用したエンクロージャ材料を主要な部分に使用しているのが、Puppy-6では、MAXXで培ったノウハウにより得られた高密度ポリフェノリックレジンベースとした素材を全面的に採用。Puppy-6のエンクロージャ材質は共振が半減、よりクリーンでスピードの速い低域を再生します。

Puppy-6は、高さを55mm、幅を12mm大きくした上で、内部構造を一新、内容積のヴォリュームを増加しました。低音再生能力をスピード感そのままに、さらに深く、豊かに追求しました。スペック上では20Hzまで実現、超低域の倍音成分が解像度の鮮明さに加え、グラデュエーション豊かに再現されます。スピードと豊かさという、いわば二律背反的な要素も設計変更により達成されました。うねるようなコントラバスの響きから、鮮烈なピッチカートまで、楽器を取り巻く空気の振動までも感じられる再生能力の高さです。

次に、Watt-6では放射角度を調整しています。より多くのリスニング条件、環境下で最高レベルの演奏が楽しめるようにタイムアライメント機構を備えました。WAMM, MAXX, X-1で既に実績のある特許PHD(Phase Delay Correction)技術を応用したもので、リスナーの位置でより正確にフォーカスすべくWatt-6の垂直方向角度を変えることができます。リスナーの位置によってWatt-6の位相補正を行うことで、よりフォーカスした素晴らしいサウンドイメージが蘇ります。あたかも、演奏家がリスナーの前で演奏しているような、そしてリスナーが大編成オーケストラを最高のシートで楽しんでいるような幻覚を覚えるほどの興奮です。

Watt-6は3本のスパイクによって支えられているため、共振から解放されよりシャープなイメージを結びます。また、この方式はリスニングルームのサイズ、形状など使用条件に対して、より広い適合性が得られました。

豊かで十分にスピード感ある低音に支えられ、Watt-6は水を得た魚の如く明瞭に、スムーズに歌いあげます。超高音部も低音部のしっかりしたサポートによって、絹の手触りのようになめらかで艶やかに、そして豊かに、余韻をもって鳴り響きます。

伝統的な設計コンセプト

「スピーカーを音楽を見る窓」です。あくまで透明で遠方まで見渡し、見通しがきき、限りなく透明であるべきです。演奏者の熱気を、演奏情景を、リスナーの眼前に再現する、それが透明度である……D.ウィルソンの定義です。そのため、特に次の点に注意を払いました。

◆共振……エンクロージャはスピーカーデザインに適合した低共振性素材をブリガムヤング大化学研究教室との共同研究により開発。さらに既に特許取得しているクロスブレイシングをエンクロージャ内部に施し、重鉛板により共振スポットを押さえ、エンクロージャの共振対策を徹底しました。その結果、ノイズフロアレベルの低下を達成し、測定できないスピーカーのS/N比という根元的問題にまでメスを入れることになりました。



◆ネットワーク……エンクロージャ内部はドライバーにより激しく空気が動かされています。ネットワーク構成部品は、内部の空気振動によってマイクロフォニック効果を起こし、部品自体が発振します。この微小レベルでの発振が「音楽を見る窓」をくもらせます。1/1000の精度を保證する高品質材料の選別はもとより、そのカプセル、ケース、設置位置など十分検討し、実際のヒアリングで吟味して決定しています。トゥイーターには個別チューニングを行い、振動板がおこすバックウェーブの干渉を徹底して排除しました。これにより、トゥイーターの振動板はそれ自体の振動のみを空気に伝え、後方に放射した音波の影響を受けず、重みのない爽やかな音質が得られたのです。

◆サウンドステージ(位相)……サウンドステージの再生には、位相の整合された再生が不可欠です。位相が乱れると、奥行き、楽器の位置、全体の明瞭な見通しが狂い、録音状況をありのままに再現することができません。演奏家、制作者の音楽解釈、音質、音楽再現に対する作曲家の意図などの理解には、その録音を正しい音色と正しい諧調で再現することが大切です。ここには時間ファクターに大きく依存する位相の問題が大きく関わってきます。時間特性をきちんと設定することがいかに大切であるかにご注目ください。時間位相特性が乱れると、音の輪郭が汚れ、にじみ、楽器の定位、奥行きまで変形されてしまいます。また、演奏における楽器の位置の関係を再現するためには各ユニットの誤差を非常にシビアな許容範囲に抑え、さらに放射アングルを調整することにより、リスニングポジションにおいてより優れたステレオイメージと、音源の位置再生が得られます。

◆フォルム……楽器に触れる、演奏家がそこにいるという実在感を得るべくトランジェント(音の立ち上がり)、ディケイタイム、(音の立ち下がり)の最適化を図りました。そのため音の乱反射の原因となるバツフル面積を最少にしてバツフル効果を排除したエンクロージャとなっています。加えて、きめ細かな再生音の諧調表現が大切です。例えていうならば黒と白の間のグレーの密度とも言うべきダイナミックシェーディングです。スピーカーとは、正しい音階バランス、音色を備えていることはもちろん、細かくスムーズで緻密なダイナミックシェーディング、時間的特性からみた位相の整合、最弱音の録音レベルを下回る微弱な耳には聞こえにくいニュアンスをも再生されなければなりません。この目標設定と結果がスピーカーの正しいフォルムであることは、WATTの成功の後に現われたWATTのコピーの多さからご理解頂けるでしょう。

◆仕上げ……スピーカーが家庭の室内で使われる以上、細心の注意を払ってその仕上げに取り組むことが要求されます。そのために自動車の塗装施設を工場内に組み込み、高級車と同等のペイント処理、鏡面仕上げを行います。カラーコーディネイトの大切さを十分理解しているアメリカだからこそ、インテリアに合わせてウィルソングロスペイントからお好みのカラーをお選びいただけることも、ウィルソンの心配りの現れです。

◆耳による決定……最終的に音を聴くのは人間です。各ユニットとエンクロージャに関しては測定とヒアリングの両面から追い込み、特に厳しい評論を行なうD.ウィルソン自身によって最適のチューニングがなされています。この点は、他のスピーカーメーカーでも真似のできないところでしょう。なぜなら、最終的な判断は、優れた人間の耳に委ねられるからに他なりません。

システム6が世界のオーディオファイルや高度な音質を目指すプロの製作現場から絶賛されている理由がお分かりいただけると思います。古い録音の優れたレコードも、生々しく、明瞭に、しかも演奏家、作曲家の意図したニュアンスを豊かにリスニング空間に再生します。今までのソースから全く新たな感動を覚えたという、うれしいご感想を寄せてくださるウィルソンオーナーの方々も多くいらっしゃいます。良いスピーカーは音楽のジャンルを選びません。録音の新旧も選びません。保存された音楽に生命の息吹を吹き込み、演奏家を蘇らせるような再生を、あなたご自身がウィルソンスピーカーとともに体験されますようお願いしております。音楽は色彩を持つといわれています。光り輝く金色のシンバル、爽やかな緑の風を連想させるハーブ、オレンジの香り豊かなバイオリンの調べ、突然黒雲の中に光り出す稲妻のようなティンパニー、どっしりとした母なる大地を思い起こさせるベース、紫色のベルベットのようなチェロのうねり、音楽は作曲家により、表現により、その色彩を変え、スピーカーはその音楽に寄り添って変幻自在に演奏する。これこそデイヴィッド・ウィルソンの理想とする音楽再生なのです。

SPECIFICATIONS

Size	305mm(W) × 1,016mm(H) × 470mm(D)
Weight	73.5kg(per channel)
Frequency response	21Hz ~ 21kHz(-3dB)
Nominal impedance	4Ω
Sensitivity	92dB(1W@1m)
Drivers	2.5cm dome tweeter × 1 17cm mid range driver × 1 20cm woofer driver × 2
Required power	7W/ch minimum

